

第 195 回浜田市教育委員会定例会議事録

日 時：令和 3 年 8 月 19 日（木） 13：30～15：05

場 所：浜田市役所北分庁舎 2 階会議室 1

出席者：岡田教育長 宇津委員 金本委員 花田委員 杉野本委員

事務局 河上部長 猪木迫参事 草刈課長 龍河副参事 山口課長

鳥居室長 田中課長

書記：日ノ原係長 石田主事

新型コロナウイルス感染防止に伴う出席者の調整のため、議題、報告資料のなかった邊参事、平岡副参事、永田副参事、濱見室長、岩崎分室長、細川分室長、馬場分室長、小松分室長は、欠席。

議事

1 教育長報告

2 議題

- (1) 浜田市立幼稚園条例の一部を改正する条例について（資料 1）
- (2) 浜田市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則について（資料 2）

3 部長・課長等報告事項

4 その他

- (1) その他

1 教育長報告

岡田教育長

本日は、忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

東京オリンピックが開催され、地元選手の活躍から大いに元気を分けていただいた。また、様々な競技で多くの人がアスリートの活躍に感動されたのではないかと思う。新型コロナウイルスの感染が収まっていない中での開催について、非常に多くの慎重な意見や反対意見があつたが、当然のことだと私は思う。ただ、その様な意見が個人への非難や誹謗中傷へとエスカレートして SNS 等への心ない人からの書き込みで選手が傷ついているというニュースを聞くとやるせない、悲しい気持ちになる。競技の参加資格についても、性別、ジェンダー問題がこのオリンピックではクローズアップされたが、人権問題について改めて考えさせられた大会であつたと思う。

また、8 月は災害が心配される様な大雨が二度にわたり降った。

幸い、浜田市では大きな被害は出てないと思っていたが、周布橋が通行止めになる等、少し影響が懸念される事態もあった。地球規模で、気候変動が顕著になっていると感じている。

さて、現在、幼稚園や学校は夏休み中である。今のところ、事故等の情報は入っていないため、ほっとしているが、早い学校は8月24日から2学期が始まる。どの学校もそろそろ2学期の準備に動き出されると聞いている。全国的に新型コロナウイルス、特に感染力が強いデルタ株の感染が広がっているため、心配が尽きないところである。子どもたちが、元気に登園、登校してくれることを願うばかりである。

それでは、お手元の資料に基づいて報告させていただきたいと思う。

① 7月28日（水）歴史文化保存展示施設専門検討委員会展示部会（北分庁舎）

常設展示の具体的な内容や展示手法についての議論を進めている。先月の活用部会で意見を出し、8月16日の歴史文化保存展示施設専門検討委員会で経過の報告があった。このことについては、後ほど担当課長から説明がある。

② 8月2日（月）浜田市総合振興計画策定委員会

これは市役所内部の素案作りの会である。4日には外部委員による審議会、17日には、また内部会議がある。非常にタイトなスケジュールの中で、この様な作業が進んでいるが、現在の状況については後ほど担当課長から説明がある。

③ 8月2日（月）市長表敬（藤間流藤恵会・チャリティー募金寄附）

6月に20周年の記念チャリティー公演を開催され、その中から市の文化活動へということで寄附金をいただいている。

④ 8月2日（月）三浦龍司選手東京オリンピック決勝・テレビ観戦応援（ハマイロ）

陸上競技協会主催で、三浦龍司選手の東京オリンピック決勝レースの応援会が開催された。下府のコミュニティスペース「hamairo（ハマイロ）」に関係者約30人が集まった。全国から注目されており、報道機関も10社程度、押しかけられたという状況で、上ヶ迫先生は取材を受けて時の人となられた。三浦龍司選手の活躍については、8月4日に市役所の正面玄関入口に3000m障害7位入賞記念の懸垂幕を設置した。16日には、

入賞記念のパネル展を市民ロビーに設置している。

- ⑤ 8月3日（火）第84回国民スポーツ大会島根県事務局と情報交換（教育長室）

2030年の国民スポーツ大会について、浜田市で開催する競技は、サッカー、体操、ゴルフが決定している。浜田市からは、軟式野球も開催したいと要望を出しているが、これについては現在、協議中である。また、トランポリン等の未決定種目もあるため、情報交換をさせていただいた。

- ⑥ 8月4日（水）行財政改革推進委員会（浜田まちづくりセンター）

外部委員による行財政改革大綱について、審議を行っている。6日には市役所内部で本部会議が開かれるため、開催しており行財政改革についても新たに見直しを進めているところである。

- ⑦ 8月6日（金）総務文教委員会（幼稚園の園児募集、預かり保育の検討状況等）

美川幼稚園の来年度の園児募集を実施するという事、公立幼稚園3園で預かり保育を実施する状況について説明をした。17日の全員協議会でも同様に説明をしているが、9月に条例の一部改正を提案する予定であり、本日の議題にも挙がっている。その様な情報提供をさせていただいた。

- ⑧ 8月6日（金）市長表敬（空手・全国大会出場）

空手の型の部で、小学生3名が東京武道館で開催される全国大会に出場するという事で市長表敬に来られた。東京の武道館で全国大会に出場できることはとても良い経験になると思いつつも、コロナ禍であるため、少し心配しているところである。

- ⑨ 8月9日（月・祝）台風9号に係る災害対策本部設置

災害対策本部を設置し、避難所の開設を行った。14日にも大雨による災害警戒本部を設置し、避難所の開設を行った。たまたまどちらも休日に大雨が降っており、職員も出勤し対応している。停電や倒木、土砂崩れの被害等が出ているが、先ほど申し上げた様に、周布橋が被災をして復旧の目途が立っていないということで、通学路にもなっているため、子どもたちへの影響を心配しているところである。

- ⑩ 8月10日（火）死亡叙位伝達（元和田小学校長 阿瀬川勇二

氏)

元和田小学校長の阿瀬川勇二氏の娘さんに死亡叙位の伝達を行った。この方は、平成24年に88歳になられ高齢者叙勲を受けておられる。

⑪ 8月10日(火)～15日(日) 幼小中学校閉庁

例年より1日早め、土曜日、日曜日、祝日と合わせて8月10日から15日までの9日間を学校閉庁とした。教職員が連続休暇を取りやすくなっている。本当にささやかではあるが、働き方改革に繋がったのではないかと考えている。

⑫ 8月12日(木) パラリンピック聖火採火式(きんたの里)

パラリンピック聖火の採火式がきんたの里で行われた。いわみ福祉会の協力を得て、神楽の舞と楽の演奏の中で、まい切り式というロープを巻き付けて木を上下させ、摩擦熱で火を起こす方法で採火している。16日、くにびきメッセに届けて県内の火が集められて東京に出発するということである。

⑬ 8月17日(火) 新型コロナ感染症対策浜田市支援策【第9弾】に係る記者会見

今回、教育委員会に関係のある支援策はない。

⑭ 8月18日(水) 島根県公立学校教員採用試験(松江市)

私も協力をするというかたちで出かけた。話を聞くと、2次試験に進まれた方が約600名ということで、面接あるいは模擬授業等、県の教育企画課が対応されているが、大変だろうと感じた。

⑮ 8月19日(木) 総務文教委員会(はまだ市民一日議会関連所管事務調査)

本日、午前中に総務文教委員会が開かれ、その中ではまだ市民一日議会で提案された駅前での学習スペースの確保について、所管事務調査があった。私は別の会議と重なっていたため、部課長に対応してもらっている。同じ時間に坂根正弘奨学金の審査会があったため、今回は審査会に出席させていただいた。また、本日の教育委員会定例会の後、課長会議にも出席する予定である。

⑯ 8月20日(金) ふれあいフォーラム(石央文化ホール)

大阪市立大空小学校初代校長の木村素子さんを講師にお迎えして、「人権って何?」～「みんなの学校」が教えてくれたこと～をテーマに開催する。早くから木村先生を招いて、障が

いを持っている子どもみんなクラスの中で一緒に教育を履行していこうということで、全国的にも注目を集めている学校のことを中心にお話されると思う。昨年、映画を見ているが、コロナの関係でなかなか来ていただくことが叶わず、市の教育研究会との共催事業のため 400 名の教職員の方々が集まる予定であったが、最近のコロナの状況が怖いということで、教職員については集まらずにリモートで参加をしてもらうこととした。市民の方々を中心に、30 名から 50 名くらいが集まれるのではないかと思っている。石央文化ホールの大ホールに 50 名くらいであるため、感染リスクは非常に低いと考えられる。委員方についても、お時間が合えばお出かけいただければと思う。

⑰ 8 月 20 日（金）市長表敬（浜田高等学校軟式野球部全国大会出場）

浜田高等学校の軟式野球部が全国大会に出場するというところで、明日、市長表敬を受ける予定である。

1 か月間の報告は以上である。

今のところで、質問等はあるか。

質疑応答

杉野本委員

学校閉庁日が今回 9 日間と長かったが、この期間に保護者の方や地域の方から教育委員会へ連絡が入るといったことはなかったか。

岡田教育長

今回の学校閉庁期間については、一切問い合わせはなかった。事前に学校閉庁日について、保護者の方々にはしっかりと通知をしようとして取り組んだため、好意的に受け止められたのではないかと思っている。万一のことがあった場合の緊急連絡先については、事前に知らせてあったため、保護者等からの問い合わせはなかった。

杉野本委員

緊急の連絡についてもなかったか。

岡田教育長

特になかった。

その他はよろしいか。

各委員

特になし。

2 議題

- (1) 浜田市立幼稚園条例の一部を改正する条例について（資料 1）
- (2) 浜田市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則について（資料 2）

岡田教育長	資料 1 と資料 2 は関連があるため、続けて説明していただければと思う。
龍河副参事	初めに資料 1 をご覧いただき、前回の定例会、臨時会で方針決定をしていただいた 10 月から浜田市立幼稚園で預かり保育を実施することに係る浜田市立幼稚園条例の一部を改正する条例の具体的な内容である。
	概要をご覧いただき、条例で定める事項は、預かり保育の実施と預かり保育料 1 日当たり 400 円という部分である。この 400 円については、保護者が就労している場合等、保育認定を受ければ無償化の対象となり、預かり保育料は無料となる。
	裏面には新旧対照表を載せている。これは新設となるため、丸々追加となる。
	続いて資料 2 をご覧いただき、浜田市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則の内容である。
	実施日については、休業日以外の日とし、実施時間は午後 2 時から午後 4 時までとする。資料に様式を添付しており、預かり保育の利用を希望する保護者は、預かり保育申込書を提出し、教育委員会で利用の可否を決定し、預かり保育利用決定通知書を申込者に通知して利用していただく流れになっている。こちらも新設のため、丸々追加するものである。説明は以上である。
岡田教育長	幼稚園の預かり保育実施に伴う条例及び規則の改正ということで、内容については前回の定例教育委員会でも議論していただいている。
	委員方からご意見ご質問があればお願いします。
宇津委員	預かり保育をしている時間の中で園児が事故に遭うという事も想定できるが、その様な時にそれまでの時間の中で起こった事故と預かり保育の時間の中で起こった事故とで、対応が異なるか。その辺りのことがいずれ文言として出てくると思うが、その様な点に配慮しておくことが必要であると思う。
龍河副参事	ここに事故に関する内容は記載されていないが、何かあった場合には通常の保育をしている時間に起こった場合と対応は同じになると思う。
宇津委員	文字に起こして表現するという必要はないのか。
龍河副参事	条例や規則の中での記載はない。
宇津委員	どこか他のところでも記載の必要があると思うが違うか。
龍河副参事	条例や規則の中に明文化するというよりも、保護者の方にこの

岡田教育長	<p>事業を始めるにあたって説明をしていかないといけないが、その中で、説明をさせていただきたいと思っている。</p>
龍河副参事	<p>元々条例や規則は、設置に伴う関係の条文であるため、事故等の保険等については、本来、入れておくかどうかということについて様々なかたちがあると思うが、今実際に幼稚園の条例や規則についてもその事故の記載、保険についての記載のある条文はあるのか。おそらくないのではないかと思うが。</p> <p>当然、預かり保育中の事故についても想定しておかなければならないため、保護者の方への周知ももちろんだが、これから幼稚園へ入園するかどうか検討される方にとってもこの辺りが重要ということであれば、何かのかたちで示すことも必要であると思う。</p>
宇津委員	<p>預かり保育中の事故についての対応であるが、やはり管理規則には定めていないが、各園によって危機管理マニュアルを作成して備えている。それに沿って、事故があった場合には内容や状況に応じて対応をしていく。</p> <p>それから保険については、全園児が保険に加入している。預かり保育中に事故や怪我が起こった場合も対象となっており、保険の範囲内である。</p>
岡田教育長	<p>承知した。</p> <p>今、条例規則に記載はないが、危機管理マニュアルで整備をしたり、保険に必ず入っているため、保険の対象となるということである。</p>
各委員	<p>その他この件に関してご質問等はあるか。</p> <p>特になし。</p>
岡田教育長	<p>それでは浜田市立幼稚園条例の一部を改正する条例並びに浜田市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則について、承認していただけるということによろしいか。</p>
岡田教育長	<p>全会一致で承認 ありがとうございました。</p>

3 部長・課長等報告事項

河上部長	<p>浜田市総合振興計画（教育部門）の原案（資料3）</p> <p>現在、浜田市では第二次浜田市総合振興計画の後期基本計画の策定に取り組んでいる。第二次の後期ということで、基本的な柱については継続するが、個別事案についての目標値の修正、あるいは教育委員会は以前から総合振興計画に幼児教育に</p>
------	--

関する記載が薄いという指摘があったため追加し、GIGA スクール関係についても追加、公民館からまちづくりセンターへ移行したことによる変更がでている。併せて、審議会の副会長として花田委員に出席していただいているが、非常にタイトなスケジュールの中で策定を行っており、全て対応させていただいているが、今、その流れできているということでご理解いただければと思う。今回は、教育文化部門だけを抜き出して説明している。先ほども話したが、幼児教育なり少し追加した部分も入っている。

また、今回の特徴として、この資料には記載はないが SDGs の考え方を全ての取組の中に取り入れるということで、1 ページ目の下欄をご覧くださいと SDGs 目標が 2、4、5、16 と記載されている。実際にはお手元に SDGs の資料をお配りしているが、それぞれの番号にそれぞれのマークがあり、目標を表している。それぞれの計画なり構想については、17 個ある目標のうち、1 番が該当するというように入れるようにしている。それぞれの課で出しているが、資料全体の中で SDGs としての項目が入っていることの確認をしている。私から 9 番の追加の指示をしているが、漏れない様に調整をしているところである。基本的な大きな目標は変わっていないが、個別の令和 7 年度の目標値の変更がある部分もある。併せて、目標の数値であるが、令和 2 年度で 10 であったものを令和 7 年度で 15 にするという様な変更もあったが、累計で開催回数を記載することとした。主要な考え方も整理されたため、今日、お配りした資料についても全てが修正できてないが、若干の修正があるということはお理解いただければと思う。簡単であるが説明は以上である。

岡田教育長

総合振興計画の教育部門の原案についてお示しをさせていただいた。現状と課題については、前期基本計画から新たに追加で検討すべきものや内容に修正が必要であるものについては、それを踏まえて現状と課題の中に書き込みをしている。今回は、総合戦略を別途作成しないため、それぞれの総合振興計画に盛り込んだ施策が総合戦略の施策として取り上げているものであるかが分かる様に、丸印をつけることとなった。

それから基本方針に基づいて具体的な施策を挙げているが、その施策の主要な事業の取組が順調に推移しているかどうか

鳥居室長

を目標を立てて追っていく。検証等が必要なものについては表書きしてあるとおおり、代表的な目標をいくつか定めている。このうち前期計画と少し切り替えたものがある。その辺りの目標数値が少し前期と切り替わったものについて、少しお示しできるものがあれば伝えていただければと思う。あるいは主な取組事業等で新しく追加したいということがあれば、各課長から説明していただきたいと思う。

2 ページの下に記載している代表的な目標について、上の段の目標を変えている。これまでは、「総合的な学習の時間は役立つと思うか」というような聞き方がされていた。「しまねの学力育成推進プラン」が今年から始まっているが、これが令和6年まで続く。目標を「地域や社会をよくするために何をすべきかを考える子どもの割合の増加」を目標指数としているため、県の学力調査の結果を追跡するというようにしている。今までは全国学力調査との比較をしていたが、質問項目が変わらないということが分かっているため、これに変えている。意味としては、今までより一歩進んでいる。地域や社会をよくするために何をすべきかを考えるということで、一歩進んだ目標指数になっている。下の段については一部文言が変わっているが、ほぼ同じ内容で聞いている。学力調査の結果が現状値、令和2年度の割合が示されている。志が低いと言われるかもしれないが、10ポイントアップを目指すということでやっている。

3 ページの中段にも目標が出ているが、上の段の目標を変えている。元々は「相手のことを大切に想う」ということについて聞いていたが、総合振興計画に「夢や希望を持ち」という言葉がでてくる。目標の中で、夢や目標という言葉がでてこないのはおかしいと思い変更している。下の段については、これまでどおりである。目標値については、現状値からの10ポイントアップの数値にしている。今までは全国学力調査、もしくは浜田市独自の調査で結果を出していたが、学力調査結果でも出すということに変更させていただいた。学校教育については以上である。

岡田教育長

主な取組で前期計画から加筆した部分は、2 ページの学力育成総合対策事業の中のタブレットドリル学習を進めていくこと、幼児教育センターの設置が新しいところである。3 ページの主な事業、取組では、ICT 機器を活用した授業改善事業を明

確に出している。また、幼児通級指導教室の設置も新しいものである。引続き5ページ以降についても主要事業で新しく追加した項目や目標が変わっているところがあれば説明していただきたいと思う。

草刈課長

家庭教育支援の推進では、基本方針の中に幼児教育施設を追加した。それから、まちづくりセンターの観点から、主要施策の文言について変更している。

岡田教育長
日ノ原係長

6ページについては、大きく変わっているところはないか。

6ページについては、前回の計画では「親学プログラム」と表記していたが、今、浜田市では「HOOP!」ということで取り組んでいるため、その部分が変わっている。

岡田教育長

同様に8ページについては、「教育魅力化コンソーシアム」という言葉が明記されて、教育の魅力化として高校教育の魅力化を中心にやっということが新たに加わっている。

大きな変更点があったところでは、3番の図書館サービスの充実については、どうか。

草刈課長

目標についての言葉が分かりにくいため整理し、カード登録者のところが分かる様に目標を変更している。

岡田教育長
田中課長

生涯スポーツの振興についてはいかがか。

文化スポーツ課の関係では、10ページの生涯スポーツの振興のところで項目等、大きな変更はないが、それぞれ代表的な目標ということで数値を挙げているが、様々な大会の参加者数やスポーツ教室の開催回数の増加というような実質的な成果を目標として挙げている。

前回の計画と違うところは、令和2年度はコロナの関係で非常に数値が落ちている。令和7年度の目標値を挙げているが、令和2年度の大きく低下した数値からの回復ということで、ものによっては前回の総合振興計画よりも最終的な目標値が下がっているものがある。今回の後期基本計画では、令和4年度からの4年間という短い期間であり、現時点で来年度の状況がなかなか見えないため、以前のような高い目標設定ではなく、現状からコロナ前の状況になんとか戻していくという設定で目標値を設定している。

続いて13ページ以降の歴史・文化の伝承と創造というところで、文化財行政を含めた項目を挙げている。こちらについても芸術文化の振興等は先ほどと同様に、石中央文化ホールの利用

者数等、相当数落ちているため、ここから回復していくという目標で考えている。文化財等、大きく目標に変更はないが、この中で令和4年度以降、現在の郷土資料館は老朽化ということもあり、施設整備ということで歴史文化保存展示施設整備事業を主な取組として挙げている。文化財についての目標値についても特に変更はない。以上である。

岡田教育長

大まかな内容であるが、それぞれ担当課長から変更点を中心に説明をしていただいた。

委員方からご質問等はあるか。

花田委員が出席されて何か聞いてみたいことや意見等があれば、おっしゃっていただければと思う。この資料に関わらず審議会に参加された感想等でも構わない。

花田委員

前回、出席したときには各部門で教育は教育でその道に長けた方で何人かのグループ分けをして、小グループで話ができていたが、今は全体会議ばかりのため、なかなか意見が集約できていないように感じている。次回からは、せめてグループにしてそれぞれの意見が出しやすいようにしたい。若い方や女性もたくさん参加されているため、貴重な声を拾うために席をグループに変えて、次回からはやってみようということになっている。

「SDGs」というものが、実際の具体的な事例がどの目標に当たるのかということに関しても参加された審議委員の腑に落ちるかどうかということが課題であるが、実際にいきた計画にしていきたいため、この辺りもきちんと考えていかなければならないと思う。教育に関する部分だけを練りに練って考えていけるかということと心配があるため、こちらの会で目標について具体的に挙げることができたなら、その方がいきていくような気がしている。

岡田教育長

教育部門については、総合振興計画が最重要の計画でありつつ、その内容を受けて教育振興計画を作成していくため、関係する委員方が集まってもう少し密な議論ができると思っている。

私も審議会に出席し、なかなか意見交換の時間が取れないことについては、それぞれの委員方が資料を持ち帰られて読み込まれ、意見を寄せられていた。この意見がたくさん挙がってきていたため、それぞれの担当課で一つひとつの意見に対する回

草刈課長

答案を作成する、あるいは反映させるというように考えている。今回の総合審というのは、その様な成り立ちの中で準備が進んでいると理解していただきたい。また、総合振興計画については意見をいただきたい。これを見られて教育振興計画の方で是非、これをやろうということがあれば委員方からも意見をいただければと思う。

行事等予定表（資料4）

教育委員会関係の行事等予定表である。期間は8月19日から9月30日まで、委員方に出席していただきたいものについては丸を付けている。

9月1日（水）令和3年度少年の主張浜田市大会については、宇津委員に審査委員を依頼している。それから9月28日は次回の教育委員会定例会である。9月29日（水）浜田市中学校駅伝競走大会については丸が付いてないが、机の上に資料を配布させていただいた。今回、式等は昨年を引き続いて縮小開催されて来賓等の案内はしないが、委員方におかれては受付をしていただければ観戦できるという扱いになっている。そのため、資料の方を修正していただき、丸を付けていただければと思う。

令和3年8月9日大雨・暴風による被害状況について（資料5）

先ほど、冒頭に教育長の話にもあったが、8月9日の大雨、暴風による被害状況等を載せている。3ページからは、8月14日の大雨による被害状況を載せており、8月17日現在で把握しているものについて作成している。1ページの1番から11番までは教育総務課の関係で、学校や図書館の関係で施設の被害状況である。12番、13番については学校教育課の関係で、通学路の被害状況である。14番から20番までについては、文化スポーツ課の関係で文化施設、スポーツ施設の被害状況である。学校施設では4番の第三中学校の自転車小屋の屋根損傷と5番の周布小学校の瓦が飛ぶ被害が金額としては大きい。通学路については、資料をご覧いただきたい。

3ページからの8月14日の被害については、1番から3番までについては学校教育課の通学路関係の被害状況である。1番と2番については、先ほども話がでたが周布川の橋の関係であ

	<p>る。4番から6番の3件については、教育総務課の関係で学校施設の被害状況である。7番から10番までの4件が文化スポーツ課の関係で、文化施設、スポーツ施設の被害状況である。学校施設では、今福小学校のプール内に土砂が流入しており、金額はまだ出ていないが、若干金額が張るかと思っている。被害状況と備考欄には復旧状況が記載できるものについては記載しているため、またご覧いただければと思う。簡単であるが、被害状況について報告させていただいた。</p>
岡田教育長	<p>2点の説明があった。行事予定のところ、9月1日に令和3年度少年の主張浜田市大会がある。私も出席する予定にしていたが、この日は9月議会の開会日で時間帯が重なるため、出席することができない。教育長からの挨拶があり、申し訳ないが宇津委員に代読をお願いしたいと思っているが、お願いできるか。</p>
宇津委員	<p>挨拶した上で、審査しなければいけないということに戸惑いを感じる部分はあるが、承知した。</p>
岡田教育長	<p>ありがとうございます。よろしく願います。 それから大雨、暴風による被害状況については、こちらの資料のとおりである。おおむね学校施設そのものに直接影響が出たところについて、雨漏りや屋根の破損等があるが、授業等に支障がない程度に改善、改修等が進んでいるというところよろしいか。</p>
山口課長 岡田教育長 委員方	<p>そうである。 ご質問はあるか。 特になし。</p>
山口課長	<p>中学生の「進路選択」に関するアンケートの実施について（資料6） 今年度9月に、中学生を対象とした進路選択に関するアンケートを実施したいと考えている。現在、各高校が取り組んでいる特色を活かした魅力化に向けての学校づくりの事業を支援しているところだが、現状として少子化で生徒数の確保が非常に難しい状況が続いていると思っている。今、高校を支援する上で中学生の考え、保護者の方々の考えを十分把握してない状況があるため、今回9月にアンケート調査を行うものである。 実施方法であるが、インターネット等が普及して携帯や端末</p>

等を使って簡単に入力できる方法を作り、これを基本的に通知文に QR コードを載せて、アクセスしてもらって入力してもらうかたちで実施したいと思っている。インターネット等がない家庭には個別で紙ベースでのアンケート調査を実施したいと考えている。

対象者は市内の中学校 9 校に在籍する中学 2 年生及び 3 年生の約 800 人である。保護者の方にもご協力いただきたいと思っている。アンケートの内容は 3 ページ以降に載せている。設問については、保護者の方と生徒それぞれ個別に配布して、同じ内容でアンケートを実施したいと思っている。内容としては、私どもが知りたい情報を回答しやすいかたちにしている。5 ページの最後に各学校で、実際にどういった学校に希望しているのか、教科等色々な思いが子どもたち、保護者の方々からの思いがあると思うため、進路先をある程度掴みたいと最後の設問に入れている。

11 ページをご覧ください、今年度に入って 6 月上旬に市内中学校 9 校の校長、教頭、進路指導の先生に聞き取り調査を行っている。高校進学について、各学校がどの様に思っているのか現状についてヒアリングしたものである。実際にヒアリング項目と内容を記載しているが、高校進学への学力の影響の部分は市内の地域感があるため、特に浜田市内の中学校に対して学力で学校を選ぶ傾向が強い。

12 ページをご覧ください、地域特性としてやはり交通が不便であったり、旭等は広島県北に隣接していたりと浜田市より近い傾向もあるため、そういった地域性も実際にアンケート結果の中には出ている。

部活動については、(3)で質問している。

15 ページにはスクールバスの影響についても学校から聞いているが、少なからずスクールバスの有無が進路選択に影響を与えているということである。これが全てではないという様な内容もある。

最後に、こういったかたちでアンケートの内容を各学校側にまず聞いて、今回は保護者の方々へのアンケート結果をまとめる。この結果については、高校側にも情報を共有して、学校側にも情報を流して色々な体制をとるために役立てたいと思っている。市教委としても、今後どういった支援が必要かという

岡田教育長

ことも基礎資料として活用していきたいと思っている。

今年、教育の魅力化コンソーシアムを立ち上げて、その中で県立高等学校3校への進学率を上げていこうという目標を立てている。そのために分析するデータが必要ということで、各校長先生や進路指導の先生とヒアリングを実施し、実際に子どもたち、あるいは保護者の方々に意識調査をしようということで、この様なアンケートにこれから取り組みたいと思っている。アンケートの結果は全て分析をして、それに対応する取組を考えていかなければならないと思っている。これらの分析結果等については、様々なかたちで公表することを考えなければならないと思っているが、私も気をつければよかったが、ヒアリングの中で学校名をカッコ書きしているのは、これは記載しない方が良いと思う。例えば、市街地の中学校もいくつかあるが、その複数の中学校が分かれば良いということだし、沿線の中学校であればそれが分かれば良い。具体的な学校名を公表するのは良くない。教育委員会定例会も公開の場であるが、学校名が記載されたままであったことは良くなかった。この資料を訂正して出すようにして欲しい。ただ大体の傾向は掴めると思う。

金本委員

この件について、委員方からご質問等あるか。

QRコードでアンケートを実施するのは、初めてだと思う。回答率というか、800人に対してどれぐらいの割合で回答を目指しているか。

山口課長

実施方法について、保護者の方にはお手紙を持ち帰ってもらって入力していただきたいと思っている。過去のアンケートの回答でも多くの割合で回答があると考えている。生徒については、今から学校に協力を仰ぐが、現在一人一台タブレットが配布されており、データ量的にも重くないと思うため、どこかで時間を作っていただいて校内で回答してもらうかたちをとって、基本的には100%の回答を目指している。

金本委員

一斉に学校で行うのか。

山口課長

そこは各クラス、先生方のタイミングになるかと思うが、期間を設けて少しずつ回答していただきたいと思っている。

岡田教育長

その他はよろしいか。

各委員

特になし。

岡田教育長

また、このアンケートを実施するということを委員方にも承

各委員

知していただき、集計が整ったところで報告をさせていただきたいと思う。よろしいか。

はい。

鳥居室長

学力向上総合対策事業中間報告資料（資料7）

まだ中間には来ていないが、とりあえず学力向上総合対策事業中間報告ということで、今まで取り組んできたことをまとめたものである。

1 番、浜田市図書館を使った調べる学習研修会であるが、例年、図書館振興財団から講師を招いて研修会を開いている。対象は図書館司書、司書教諭等ということで、今年度は学力向上推進室の植田指導主事、昨年度までは図書館司書をされていた方で、現職の時には調べる学習コンクールで熱心に取り組まれた方を講師として開催している。実践に基づいた実践的な研修となり、非常に参加者にとっては今後の調べる学習コンクールに向かって意識を高めていくということで、非常に有益な研修であったと思っている。理論的な話と実践的な研修を組み合わせながら行う必要性も感じた。

2 番目、図書館を使った調べる学習応援講座ということで、参加したいと希望された子どもたちが参加している。夏休みに実際に自分で調べて色々とまとめていくことになるが、そのきっかけづくりとどの様に調べていくと良いのか、学習方法を学ぶ講座である。実施場所、実施日については、資料に記載しているとおりである。今年度の特色としては、参加希望者が多く、残念ながら人数制限のため参加できなかった子どもたちがいた。そのため、出前講座や学校司書の方に支援をお願いするかたちで、希望された子どもたちが何らかのかたちで関わっていける体制を整えた。子どもたちは一生懸命まとめている最中であると思う。

3 番目、協調学習研修会であるが、昨年度と同様に県教委主催に浜田市教育委員会が共催するものと次の日は浜田市教育委員会が主催で県教委が関わってくるかたちで2日間開催している。市教委は8月6日、午前は高校の先生方が6名参加され、隠岐からも参加されていた。高校の先生方と協議をするということは非常に有益であると今回も感じた。新型コロナウイルス感染症による状況を踏まえ、東京大学 CoREF と研修会場をつな

いだリモート開催としている。2 ページの 2 行目に、今回の特色は指定校である浜田東中学校の清本教諭は、旭中学校におられた時から協調学習に取り組んでいる。浜田東中学校で実践した授業を実際に体験してもらって、子どもの反応や協調学習の感想等を実践発表してもらおう。全てが東京大学 CoREF の講義だけではなく、指定校の取組を入れたことが今年度の特色であったと思う。

昨年度の教育委員会定例会でも紹介したが、実施校と実践が多い学校、そうでない学校でアンケートを取り意識調査をしたら 20 ポイントぐらい差が出ていると報告をしたが、この研修会で改めて触れている。東京大学 CoREF が非常に関心を示しており、こういった検証をしたことが今までなかった。今後、子どもたちが卒業する時に聞き取り調査をしたいと思っている。彼らが協調学習の手法をどの様に思っているか、嫌いな子はいないのかと突っ込んで調査をして検証したいと思っている。

4 番目、スーパーティーチャー示範授業による授業力向上研修では、大阪や広島から来られるということを考えて、子どもたちの指導に直接あたられるということを考えて、昨年度に引き続いて中止としている。

5 番目、全国学力・学習状況調査であるが、まだ結果は届いていないが 5 月 27 日に実施をしている。今月末に結果が届くことになっているため、来月の定例会でご報告をさせていただきたいと思っている。

6 番目、子どもの声でつくる授業については、今までも色々とお伝えしてきたが、5 月と 6 月で全ての学校に出かけて研修を実施している。ついでに国語部会を全面的に市全体でやると報告したが、先週の金曜日に研究構想の相談に行ってきた。非常に具体的な授業構想まで考えている。今後も継続して市教研の国語部会、この漸進的な取組へのバックアップをしていきたいと思う。

7 番、学校訪問であるが、学校訪問 A は各学校の実態把握とニーズ、取組状況の把握ということで、5 月から 6 月に教育事務所長訪問と併せて全ての学校に聞き取り調査をしている。授業改善の取組ということで、ピンポイントでの聞き取りを行った。

学校訪問 B は、授業改善のための学校訪問ということで、回

数については小中学校ともに年間2回以上訪問する。教科についても、資料に記載があるとおりである。1学期の訪問学校数は13校であったが、事前に1回か2回、授業構想の相談に行っているため、訪問回数は倍以上である。その他の訪問ということで、子どもの声でつくる授業職員研修に25校、それから図書館活用教育出前授業・職員研修に3校出かけている。それから教育事務所の訪問に同行しながら生徒指導訪問へ7校行っている。

8番目、ICT機器を活用した授業改善ということで、周布小学校を指定校とし、「タブレットとの出会いの場」についてしっかり関わっていただき、各学校に広げていく指定校の役割を果たしてもらっている。2学期以降に授業公開をし、各学校へ実践を広げていく予定にしている。

(2)浜田市ICT活用教育ハンドブックの資料Aということで、資料を添付している。初版として作成して、6月末に各学校へ配布している。今後、授業実践の参考となるように各学校の情報収集をしながら、ここでこんな取組ができた等、実践編を増やしていきたいと思っている。それをハンドブックに実践例として反映させて2版、3版と随時更新をしながら令和5年度の完成版を目指していく。今は取り敢えず初版を配布し、今回は理論編と出会いの場のやり方を紹介している。

(3)Microsoft Teams研修会では、7月29日(木)に各学校から代表1名が参加していただき、実際に自分のタブレットを持ち込んで体験型の研修会を実施した。講師は、GIGAスクールサポーターの安部さん、そして4名のICT支援員も補助者として先生方の支援として参加している。研修会の内容は資料に記載のあるとおり、実践的な研修になったと思っている。参加者は後日、各学校で研修内容を先生方に広めて周知するかたちに行っている。当日の資料として「パワーポイント説明資料」、「オンライン授業成功のための10のヒント」、「GIGAスクールですぐに使えるヒント30」も資料として配布している。いつでも見られるように、フォルダの中に入れて情報共有している。当日の研修動画についても、いつでも見られるように保存している。

岡田教育長

ただいま学力向上総合対策事業の中間報告の説明があった。
ご質問等あればお願いします。

各委員
岡田教育長

特になし。

現時点では、当初の予定からいくとスーパーティーチャー示範授業についてはコロナの関係で実施できていないが、協調学習も昨年以上に力を入れていることは分かっていたかと思う。それから学校訪問の回数も増やしている。また、ICT 機器を活用した授業改善についても、ハンドブックを作成したり、Teams の研修会を開催するなどして、現場で役立つ実践型の研修会等を開催している状況である。

田中課長

第 6 回歴史文化保存展示施設専門検討委員会（資料 8）

現在の検討状況について報告を行う。議題に挙がっており、この会では常設展示の主な展示手法について、それから 2 点目に歴史文化保存展示施設の基本計画（案）について挙げている。実はここまでは検討委員会が展示部会と活用部会の 2 つに分かれて検討を進めてきた。今回の専門検討委員会は各部会で検討してきた内容をまとめて、策定を進めている基本計画の草案を議題の 2 点目で検討いただく。1 点目の常設展示の主な展示手法についての議題では、これまで展示部会でご意見をいただいていた内容に、今回は活用部会の方々を含めてご意見をいただきたいため、2 つの議題をこの会議で検討している。

3 ページの資料 1 をご覧いただき、常設展示の主な展示手法についての資料である。詳しくは資料 2 でも説明をするが、資料の右側の図をご覧いただき、これが常設展示の内容を表している。左下からこの部屋に入り、上に登って時計回りに回る。最初に浜田の大地、それから古代浜田の形成、古代石見の中の浜田、中世浜田の領主たち、城下町としての浜田、浜田県の成立と近代化、浜田の発展といった様に、浜田の通史を追って順に展示コーナーを設けて、それぞれに資料を展示していく。ここではこういった手法を用いて展示していくかということをも具体的な文言で挙げて検討している。この展示室の中央に丸が 2 つあるが、これは生活民具の展示や浜田を築いた偉人に関する展示を考えている。資料 1 では 3 ページから 7 ページまで、それぞれのコーナー別に展示手法を挙げている。これまでの部会の中では、他市の資料等を写真付きで載せていたが、今回は文言で具体的に詰めようということで、文字による資料となっている。これも含めて 8 ページの資料 2 をご覧いただき、展示、

活用それぞれがこれまで検討した内容を基本計画概要版（案）ということで資料2にまとめている。

資料2の最初の部分は、これまでの整備方針等にも挙げてきたものである。歴史文化保存展示施設の整備についての現状の課題や施設整備の方針、それから右側には周辺関連施設等も挙げている。

9ページに4.増設等の整備方法についてということで、世界こども美術館の横に併設し、整備していく施設について増設する部分と改修する部分を表している。右側の5.歴史文化保存展示施設の考え方として、整備方針では次の役割を担う必要不可欠な施設として掲げている内容である。(1)歴史・文化の保存・継承の拠点、(2)ふるさと郷育の拠点、(3)市民や観光客の交流拠点、これらの考え方と世界こども美術館創作活動館の考え方を踏まえながら、下の図を基本的な考え方としている。(1)基本理念については、ふるさと浜田の魅力探求と未来への創造力を育むである。(2)使命、(3)歴史文化保存展示施設それから世界こども美術館の創作活動館の施設別の目的と活動ということで、それぞれまとめている。(4)活動方針として、子どもたちが分かりやすく、興味や好奇心を呼び起こす活動や親子や各世代と楽しく学ぶ活動、学校教育との連携により教育効果を高める活動、世界的な視点と交流から国際性を育む活動を活動方針として掲げている。

10ページ目は、ターゲットについてである。ここで中心となるのは児童生徒である。隣接する世界こども美術館と併設するというので、児童生徒を中心としながら、歴史文化保存展示施設については、高齢者も含めた全世帯が対象となっている。右側に示しているのは、6.活動内容ということで、先ほどの3つの役割に向けた常設展示や企画展示、それから資料管理や調査研究活動を挙げている。

11ページには横の棒グラフの図があるが、開館からの活動のスケジュールを載せている。上から展示活動、資料管理・調査研究活動、学校教育に関わる活動、この中には、ふるさと学習活動や教材提供活動、出前授業活動も含まれている。それから生涯学習に関わる活動ということで、様々な講座、それから交流に関わる活動それぞれについて、短期の開館直後の3年目まで、それから中期、長期と取り組んでいくものということで、

全体の活動のスケジュールをまとめている。

12 ページの 7. 展示計画である。先ほどの展示については、資料にあったが、基本計画に現在書かれている展示計画の内容である。常設展示と企画展示室、それぞれで考えている。1 番下に図で示しているが、エントランスホールに入ってきたところで、石見神楽や風土等の資料を展示する。先ほども少し触れたが、浜田の大地からの浜田市の歴史展示、そこでは世界や日本の歴史を並べたかたちのもも挙げていく。その中央には、生活民具の展示や浜田の偉人に関する展示である。

13 ページをご覧ください、先ほども図で表されていたが、右側に具体的な展示室の概念図を載せている。左下の美術館側から入っていただき、最初の空間がエントランスホールで石見神楽や風土に関するものを最初の入り口のところで展示をする。右側は先ほど見ていただいた常設展示の絵である。それからエントランスホールの真上には企画展示のコーナーを設けて、民具や偉人展示のほか、テーマを変えながら常設展示とは異なる切り口で資料やトピックを展示する。

14 ページには年間活動スケジュールということで、4 月から 3 月までの具体的な活動の想定されるスケジュール等を挙げている。先ほど申し上げた資料 1 の展示手法等の内容が、このスケジュールの中に更に追加となる。資料 2 の基本計画についても、これまでの検討結果をまとめた概要ということで出しているため、今後の内容については更に検討していく必要がある。現在の歴史文化保存展示施設の専門検討委員会の状況ということで、報告をさせていただいた。以上である。

岡田教育長

歴史文化保存展示施設、大きな投資をして整備をするということで、現在、専門家による検討会が始まっている。私も参加し話を聞いているが、やはり一度行ってもう行かないというような施設にはしないようにしようということで、展示施設について色々なアイデアを専門家の方からいただいている。それから教育委員会として何よりもターゲットが児童生徒の年代を中心にしようということで、幼児から高齢者まで幅広い年齢層に対応するミュージアムであっても、中心は児童生徒である。特に活用部会については、小学校の校長会会長や社会科部会の会長にも参加していただいて小学校や中学校の現状等も話をさせていただきながら、それに対応できる施設にしようというこ

とで色々なアイデアを出していただいているところである。今日は専門検討委員会のメンバーがこれまで部会でまとめられた案を、資料ということで、委員方にもこういう議論が進んでいることを承知いただきたいと思っている。検討委員会からある程度方針がまとまった時には、また方針についても議論する機会も増えてくると思うが、よろしくお願ひしたいと思う。

この件について、何かご質問等あるか。

宇津委員

年間活動スケジュールの中にふるさと学習活動とあるが、学校から受け入れをする予定か。

田中課長

そうである。前半と後半と分けて8校ずつ受け入れを行う。

宇津委員

一方、出前授業活動とは展示室のスタッフの方が資料を基に、出前で学校に出かけて行って授業をするというかたちであるか。

田中課長

そうである。先ほどのふるさと学習のところで、8校ずつの見学の受け入れの体制を進めようと思うが、やはり学校によってはなかなか校外へ出た活動が難しい場合もある。そのため、並行して施設から持って出られる資料等を持って、施設から学校に出向くことも活動として検討していきたいという意味合いで出前授業を始めている。

宇津委員

学校現場の先生方が懸念するのは移動方法である。どうしてもその時にスクールバスを利用するというのが、課題としてでてくる気がする。その辺りは視野に入っているか。

田中課長

実際にそういった課題がでてくると思う。時間的なこと、それから移動方法、やはり課題として実際に実施する際には、そういったところも解決していく必要がある。そういったことで仮に難しい場合に、逆に出前授業で補完していけるようなことを考えていく。施設側としては、視察・見学を受け入れられる体制にしていく整備をしていく。

岡田教育長

ご指摘いただいた様に、現時点ではいろいろなアイデアを出して段階のため、多くの柔軟なアイデアがでてくる。その中で実現しようと思うと個々に色々な課題があると思う。ただその中で教育委員会が本当に子どもたちのためにどうしていくのかと考えた時に、例えばスクールバスが必要であるということであれば、それは何とか予算取りをしていくということをしつかり考えていかなければならないと思っている。また、世界子ども美術館は教育委員会が所管しており、歴史文化保存展示

施設との併設の施設になるため、両方の良さを潰しあわない様により良い活用の仕方についても前館長さんから意見をいただいている。そうした新しい併設施設としての整備ができる時には、それを活用することについて教育委員会としてもできる限り子どもたちを中心に考えた時に、具体的にどの様にしていくのかということについては、これからしっかり議論していく必要がある。完成してどうかということではなくて、ある程度のこういった方針が出そうだということであれば、並行して準備をしていく必要があると私は考えている。また、委員方のご意見もいただきたいと思う。

その他はよろしいか。

杉野本委員

常設展示を見て回る所要時間はどれくらいの時間を考えておられるのかということ、それからこども美術館でのミュージアムスクールの場合であるが、1学級ずつ1学年全員ではなくてクラスずつ行く、そのため学校の数以上に人数や回数は増えていくと思うが、最大人数はどれくらいを考えているか。

田中課長

先ほどの常設展示の図で左から入って時計回りに回ってと話したが、実はこの時の会議で結論がでなかったのが、そもそも左に回っていくのか、右に回っていくのかということで、巻物の資料であれば資料が縦書きであったりするため、色々な議論が出たところである。まだ、実際に滞在時間やどれくらいの人数ということまでの議論に至っていない。現時点ではそこまで詰まっていない。

杉野本委員

基本計画の整備方針の中に、今ある世界こども美術館の建物の外観が船のかたちであるが、朝日を浴びてすごく良く、夕方山側から海に向かってみると非常に良い。非常に素敵な建物であると思う。併設されても、見え方が変わらない様に配慮されているのは有難いと思った。

田中課長

8 ページに世界こども美術館の写真が掲載されており、写真の左下に美術館の入り口があるが、実際に新しい施設が建設されるのは美術館の後ろ側になる。新しい施設は平屋で低い建物であるため、特に上からの眺望等、あるいはエントランスから入ってくる時の外観等に極力影響がない様に考えている。

杉野本委員

バイパス、9号線からも美術館が見えるがその辺りはどうか。

田中課長

もしかしたら現れるかもしれない。どちらにしても、現在の白い美術館の建物の景観に影響を与える様な建物にはならな

岡田教育長
委員方

い様に考えていく。
その他はよろしいか。
特になし。

田中課長

三浦龍司選手の東京 2020 オリンピック競技大会入賞について
(資料 9)

今までの定例会でも三浦龍司選手のオリンピック出場について報告をしてきたが、見事に決勝に進まれて 8 月 2 日、7 位入賞を果たされた。男子陸上 3000m 障害ということで、自身の持つ日本記録を予選でも更新し、決勝で 7 位に入賞を果たし、走るたびに我々にとってオリンピックを身近に感じさせてくれる喜びを与えていただいたと思う。

このことを受けて、入賞を称えるとともに、三浦選手が今後ますます活躍され、市民に大きな感動を与えるくれることを願い、お祝いの懸垂幕を掲揚したところである。現在、市役所 1 階市民ロビーに三浦選手のオリンピックの時の写真をパネルにして、パネル展を開催している。お時間ございましたら、是非ご覧いただきたいと思う。引き続き、三浦龍司選手の応援をよろしく願います。

石央シネマ倶楽部企画映画上映会「お終活」(追加資料)

現在、チケットを販売中である。場所は石央文化ホール、日時は 8 月 29 日(日)である。上映時間は 1 回目が 9 時 30 分、2 回目が 13 時 30 分からである。石央シネマ倶楽部企画映画上映会が開催されるため、ご案内させていただいた。以上である。

岡田教育長

部課長からの報告事項は以上であった。

4 その他

(1) その他

岡田教育長
各課長
岡田教育長

事務局からその他何かあるか。
特になし。

各委員

その他のところで、委員方からご報告やご質問があれば願います。
特になし。

次回定例会日程

定例会 9月28日(火) 13時30分から 浜田市役所本庁4階講堂 AB

次々回定例会日程

定例会 10月29日(金) 13時30分から 浜田市役所本庁4階講堂 AB

15:05 終了